

after311

第7回脱原発弘前映画祭

2016年5月21日(土) 10:00～

弘前文化センター大ホール

大人 1作品 1000円(2人まで入場可)

大学生 1作品 500円(2人まで入場可)

高校生以下 無料

311を私たちは

けっして忘れない

上映作品

「大地を受け継ぐ」 井上淳一監督 10:30 15:30

「福島生きものの記録3～拡散」 岩崎雅典監督 13:45 18:00

報告①電力自由化で原発の電気にさようなら
(生活クラブ生活協同組合)

報告②大詰めを迎える大間原発訴訟
(大間原発訴訟団)

主催：after311 脱原発弘前映画祭実行委員会 (代表 仁平 将)

協力：npo harappa

協賛：なくそう原発・核燃、青森ネットワーク

お問合せ：070-6952-2614 (竹浪 純)

※駐車場が混み合います。公共交通機関をご利用下さい。

after311 第7回脱原発弘前映画祭

「311を私たちは決して忘れない」をテーマに、after311第7回脱原発弘前映画祭を開催します。今回は、福島を今を描いた二作のドキュメンタリー映画を上映します。原発事故で父を奪われ、大地を汚された一人の農業者の“声”を聴き、東京電力福島第一原発によりまき散らされた放射能の拡散状況を見つめ直します。4月からの電力販売完全自由化を迎え、脱原発をめざす私たちに何ができるかを考えましょう。大詰めを迎えている大間原発訴訟の現況もお伝えします。皆様の参加をお待ちしております。

映画

大地を受け継ぐ 監督：井上淳一（86分）

父を奪われ、土を汚され、それでもこの地で生きていく——
先祖代々、耕された土地を受け継ぐ、四年間の決意と軌跡。

2011年3月24日、福島県須賀川市で農業を営むひとりの男性が自ら命を絶った。原発事故を受け、地元の農業団体から農作物出荷停止のファックスが届いた翌朝のことだった。「お前に農業を勧めたのは、間違っていたかもしれない」。そう息子に言い残して。

それから四年。学生たちが訪れたこの農家の息子（樽川和也）は、母（美津代）とふたり、汚された土地で農作物を作り続けている。「福島の米や野菜は今の値段では売れないし、売れても赤字になることはない」。農業だけで生きていくことが難しい現状だ。それでも自死した父や、先祖が代々受け継いできた土地を捨てるわけにはいかないと、彼らは土を耕し作物を育て続けている。

「いい土を作らないと、美味しい野菜はできない」。そう言い続けてきた父。毎年食べていた椎茸、ふきのとう、たらの芽、山菜は、いまこの土地には無い。検査しているとはいえ、汚染された地で育てた作物を流通させる、生産者としての罪の意識。紛争解決センターでの裁判、東電からの補償金、身内からの批難…。次々に押し寄せる内外の葛藤。これは決して報道されることのない現実なんだと。四年間の決意と軌跡。息子は言う。「これは風評じゃない、現実なんだ」と。

果たして、学生たちは何を想い、何を受け継ぐのか——



福島生きものの記録シリーズ3～拡散 監督：岩崎雅典（91分）

福島第一原子力発電所の事故による放射性物質が生態系にどのような影響を及ぼすかを追跡・記録したドキュメンタリー「福島 生きものの記録」シリーズ第3作。2012年4月から記録を始め、13年に「シリーズ1 被曝」、14年に「シリーズ2 異変」を完成させた岩崎雅典監督をはじめとした制作スタッフは、原発の周辺町村だけでは生きものの環境をとらえることができないと感じ、改めて「拡散」をテーマに掲げて取材。福島県のみならず、低線量地帯の他県の生きものにも放射線の影響が及んでいることを確認する。また、反原発を訴え続けていることで広く知られる京都大学原子炉実験所・小出裕章助教の証言も得た。



報告① 生活クラブ生活協同組合より

原発のない社会をめざして、自然エネルギーを拡げ選んで使うことが、この4月からできるようになりました。生活クラブ生協青森では電気の共同購入を2016年10月からスタートさせます。電気の共同購入って何？電気を選ぶってどういうこと？そんな疑問に答えます。



報告② 竹田とし子氏（大間原発訴訟の会代表） 菱谷 毅氏（弁護士）

大間原発訴訟は、この7月からいよいよ大詰めの証人調べに入ります。会では、この訴訟を市民の力で支えるために、今第8次の原告募集をしています。大間原発訴訟をめぐる状況と、今後の展望についてお話しします。

映画祭日程

- 10:25～ ごあいさつ
- 10:30～ 大地を受け継ぐ
- 12:00～ 休憩
- 12:30～ 報告①生活クラブ生協
- 13:15～ 報告②大間原発訴訟の会
- 13:45～ 福島生きものの記録3 拡散
- 15:30～ 大地を受け継ぐ（再）
- 17:15～ 報告①（再）
- 18:00～ 福島生きものの記録3 拡散（再）
- 19:30 終了

料金

- 大人 1作品1000円
- 大学生 1作品 500円
- 高校生以下 無料

尚、障がいをお持ちの方は500円、3・11で被災された方は無料とさせていただきますので、割引をご希望の方は、当日券販売窓口にお声をおかけください。

各種コーナー

野田香菜子写真展 慰霊の祭「うごくセタ」の撮影ボランティアを機に、震災1年目より陸前高田にかかわる。復興支援イベント、カレンダー、新聞等に写真提供。今年3月、秋田市で写真展を開催。大切な人を守る大切さを思い起こす機会となれば幸いです。

書籍市 原発・核燃問題関連書籍新刊を展示・販売します。
軽食サービス 「ゆいまある」のサンドイッチ・パンと、コーヒーを販売します。

お知らせ

- 駐車スペースが限られておりますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
- 託児所をご希望の方は1週間前までに下記事務局へお問い合わせください。

after311 第7回脱原発弘前映画祭 呼びかけ人

仁平将（代表）、青山薫、赤平勇人、秋元芳江、明山遼、浅石絃爾、阿部東、阿部玲子、阿保玄馬、荒川修、荒川志穂、新谷進一、蟻塚亮二、安藤晴美、安藤房治、飯考行、五十嵐貞子、石川隆之、石田貴美恵、石田久、石田寛、石塚哉史、泉谷雅人、泉谷真実、市田緑、伊藤圭子、猪股あや子、猪股峻、今泉昌一、岩館友祐、岩淵聡、岩淵シゲ、上松一、遠藤順子、逢坂拓、逢坂光範、大島貴美子、大高信一、大竹進、太田正幸、大坪正一、小笠原良子、小川盛政、奥村榮、尾崎一美、尾崎千鶴子、小山内頼人、小田切明和、小田切達、小田桐真人、小田桐泰英、小田桐豊、小野田明子、小野美穂子、小山秀人、郭竹子、角田尚樹、葛西康司、葛西聡、加藤あけみ、鎌田理華子、柄沢博之、河合正雄、川越誠子、川嶋博、川村洋史、川村正樹、神田健策、菊川慶子、貴田岡曠久、喜多昭一、木田義満、木村一雄、木村匡宏、櫛部孝行、工藤啓一、工藤幸子、工藤淳治、工藤睦、工藤八千代、窪田恵子、久保田祐輝、熊谷菜穂子、熊野真規子、倉坪茂彦、倉坪芳子、黒澤彰香、黒滝美樹、黒沼修、黒沼利三、柳澤孝尚、趙明男、小瑤史朗、小西玲奈、古村一雄、近藤由璃、齋藤厚、齋藤裕磨、齋藤信、齋藤紀、齋藤美貴、酒田孝、坂本恵津子、坂本隆、崎野修、作間信彦、桜田節子、櫻庭晋、桜庭真里子、佐々木憲一、佐藤岳、佐藤克巳、佐藤佳代子、佐藤倅造、佐藤久、佐藤仁志、佐藤史絵、佐藤文雄、佐藤文猛、佐藤まさ、佐原直道、佐原元、佐原若子、座間宮ガレイ、澤口進、沢目ミヤ、品川信良、篠原宗緒、清水全子、下間正博、下野直之、下村博央、庄司恵雄、J・E・フィリップス、白井千菜、城田安幸、鈴木裕史、須藤宏、瀬川紀雄、芹田美穂子、相馬哲博、相馬裕、高地豊人、高橋千鶴子、高松利昌、高森牧子、竹内一仁、谷田修、武田信子、竹浪歩、竹浪恭二郎、竹浪純、竹森幸一、竹谷聡、田代実、立柳作之進、立石雅昭、田中研、田中義也、田中亮子、谷崎嘉治、田村儀則、千葉厚子、千葉浩郎、千葉仁子、張樹槐、津川文義、戸川雅子、土岐満子、土岐峯子、羽内伸子、永井温子、中澤博子、中嶋香織、永瀬範明、中畑範彦、中道雅史、中村寛二、夏堀務、鳴海清彦、二階堂清子、三川原一、西岡まゆみ、西崎昭吉、野田香菜子、NON (NON BAND)、長谷河亜希子、長谷良志男、原野洋、V・R・カーペンター、日土潤、平井佑典、平澤慎、広野晃久、深作拓郎、福士顕治、福田進治、福原秋雄、福原加壽子、藤川まゆみ、藤田幸子、藤田せい子、藤田忠継、藤田伴之、藤森勝彦、藤原竹二、藤原美紀、北條匡人、穂積夏子、舛甚清人、松島明、松田耕一郎、松林宏樹、松本理香、三浦信子、三浦史子、三上憲治、三上恒子、三上直樹、三上ひろ子、三上弘之、宮崎竜子、宮永崇史、三和千枝子、村松正江、盛有子、森住卓、矢澤アイサ、安田俊夫、安田肇、山口久、山下悟、山下知徳、山田勝仁、山田清彦、山田大輔、山本公行、山本陽子、横濱正幸、吉俣洋、米塚淑子、若松紅、渡邊克司（敬称略） 計253名（非掲載10名）

主催：after311脱原発弘前映画祭実行委員会（代表 仁平将） 協力：npo harappa 協賛：なくそう原発・核燃、あおもりネットワーク
お問い合わせ：070-6952-2614（竹浪純）